

報道関係者各位

2014年9月1日

中央ろうきん、無業・不安定就労の若者を支援する市民活動を助成

社会的不利・困難を抱える若者の自立就労を応援する「若者応援ファンド」を創設

10月4日（土）創設記念シンポジウムを開催、企画・運営協力にNPO 法人ビッグイシュー基金

中央労働金庫（東京都千代田区、理事長 吉田正和 以下〈中央ろうきん〉という）は、社会的不利・困難を抱える若者の就労支援に特化した新たな市民活動助成制度「中央ろうきん若者応援ファンド」（以下、本助成制度という）を創設し、無業や不安定就労の状態にある若者の自立支援をサポートします。

本助成制度は、〈中央ろうきん〉の営業エリア 1都7県で若者支援に取り組む市民団体（NPOなどの非営利団体）を対象に活動資金を助成するもので、若者応援の出口として就労の選択肢を増やすため、支援団体が分野や領域を超えて連携し、新たなプログラムをつくる取り組みを応援します。また、若者応援に携わる「人」や「組織」の成長を願い、先駆的でユニークな取り組みが広がり、若者を応援する活動分野全体が強くなることを期待しています。

本助成制度は、〈中央ろうきん〉のCSR 活動の一環として中央ろうきん社会貢献基金（東京都千代田区、会長 吉田正和）が実施し、認定NPO法人ビッグイシュー基金（大阪市北区、理事長 佐野章二氏）の協力のもと企画・運営を行います。

また、中央ろうきん社会貢献基金は、10月4日（土）、全電通労働会館（東京都千代田区）で、本助成制度の創設を記念するシンポジウム『いま、なぜ若者応援が必要なのか？』を開催します。本シンポジウムでは、社会的に孤立する“働きたくても、働けない”若者の現状と、問題解決に挑む若者応援現場の「いま」を発信し、困難を抱える若者が安心して働き続けることのできる社会の実現に向けた労組・NPO・企業のパートナーシップを考えます。

本助成制度およびシンポジウムの詳細は、後述のご参考資料および中央ろうきんホームページ内「中央ろうきん若者応援ファンド」のページをご覧ください。<http://chuo.rokin.com/about/csr/index.html>

<シンポジウム概要>

名 称	「中央ろうきん若者応援ファンド」創設記念シンポジウム いま、なぜ若者応援が必要なのか？
開催日時	2014年10月4日（土）14：00～17：00
会 場	全電通労働会館 大ホール（千代田区御茶ノ水）
登壇者	[基調講演] 湯浅 誠 氏（社会活動家/法政大学教授） [事例報告] 瀬名波雅子 氏（認定NPO 法人ビッグイシュー基金 プログラムコーディネーター） 中野 謙作 氏（一般社団法人栃木県若年者支援機構 理事長） 塩山 諒 氏（NPO 法人スマイルスタイル 代表） [パネルディスカッション] 村上 陽子 氏（連合 非正規労働センター 総局長） 石原 康則 氏（電機神奈川福祉センター 理事長） コーディネーター 大塚 敏夫 氏（中央労福協 事務局長）

【本件に関するお問い合わせ】

中央労働金庫総合企画部<CSR 企画>（兼 中央ろうきん社会貢献基金事務局）
担当：高瀬・岩村 TEL：03-3293-2048 E-mail：npo@chuo-rokin.or.jp

◀「中央ろうきん若者応援ファンド」の創設について▶



子育てや環境、さまざまな障害、格差など、いま、はたらく人が暮らす地域社会は、たくさんの課題を抱えています。とりわけ労働・雇用の分野では、若年無業者（※）60万人、若者の非正規雇用者比率36.6%となっており、“働きたくても、働けない”若者の増加が、

大きな社会課題となっています（内閣府「平成26年版子ども・若者白書」より）。

“働きたくても、働けない”若者の増加の背景には、就労条件・雇用条件の悪化という点に加え、不安定な就労や無業の状態にある若者自身が複雑な諸事情による社会的困難や孤立を抱えているという点が指摘されています。一方、社会的に孤立する若者の状況・ニーズに合った社会保障やセーフティネットが整備されておらず、官民を問わず、その支援のあり方が模索されています。

こうした社会的課題を背景に、はたらく人の福祉金融機関<ろうきん>の役割発揮と、会員である労働組合・市民団体との連携支援の一環として、社会的不利・困難を抱えた若者の就労を応援する社会貢献制度を創設いたしました。

◀制度概要▶

■助成制度の趣旨

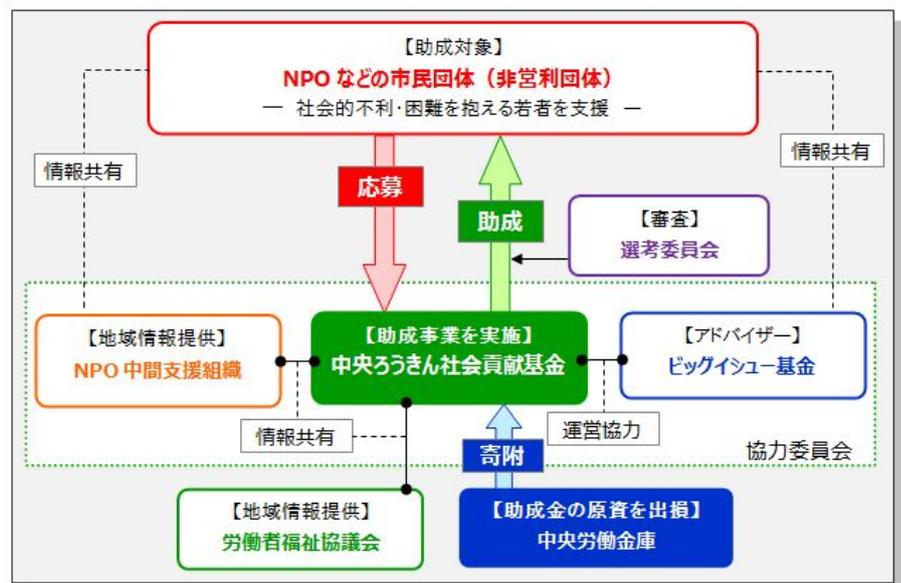
「中央ろうきん若者応援ファンド」は、家庭環境や経済状況、病気や障害などの諸事情による社会的不利・困難を抱え、不安定な就労や無業の状態にある若者を応援する、<中央ろうきん>の新しい市民活動助成制度です。

本助成制度は、就労の選択肢を増やすため、現場の若者支援団体（NPO等の非営利団体）が分野や領域を超えて連携し、新たなプログラムをつくる取り組みを応援します。また、若者応援に携わる「人」や「組織」の成長を願い、先駆的でユニークな取り組みが広がり、若者を応援する活動分野全体が強くなることを期待しています。

■運営協力体制

「中央ろうきん若者応援ファンド」は、助成金の原資を<中央ろうきん>が出損し、「中央ろうきん社会貢献基金」が実施・運営を行います。

企画・運営は、ホームレスの自立・社会復帰をサポートするNPO法人ビッグイシュー基金をアドバイザーに迎えるほか、これまで<中央ろうきん>と協力関係にある1都7県のNPO中間支援組織、労働者福祉協議会の協力のもとに実施します。



■ 助成の内容

「中央ろうきん若者応援ファンド」は、中央労働金庫からの寄附金を原資に助成事業を実施します。

(1) 助成の対象

中央ろうきんの営業エリア 1 都 7 県で若者支援に取り組む市民団体（NPO等の非営利団体）

(2) 助成の期間

2015 年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日

(3) 助成の総額

1,000 万円

(4) 助成の金額

1 団体あたり 50 万円以上 200 万円以内

■ 助成先の選考について

「中央ろうきん若者応援ファンド」は、公募ではありません。選考は、外部有識者で構成する「選考委員会」で審査を行うほか、関東エリア 1 都 7 県の NPO 中間支援組織、労働者福祉協議会とも連携を図り助成先を決定します。

◀ 団体概要 ▶

*1 中央ろうきん社会貢献基金

福祉・環境および文化にかかわる助成、支援活動を通じて、人々が共生できる社会の実現に資することを目的に、設立（2002 年 4 月 1 日）。はたらく人の団体、広く市民の参加による団体に対する助成・支援活動とそのために必要な事業を実施しています。



*2 認定 NPO 法人ビッグイシュー基金

有限会社ビッグイシュー日本（大阪市北区、代表 佐野章二氏）を母体に設立された非営利団体（2007 年 9 月設立）。ビッグイシュー基金は、一度失敗しても“やり直しのきく”社会の形成にチャレンジし、ホームレスの人たちが自立し再び社会に復帰できるようにする多面的なサポート事業を行っています。



ご案内：「ビッグイシュー日本版」への記事広告協力の実施について

現在、中央ろうきん社会貢献基金では、ホームレスの方の自立を支援する雑誌『ビッグイシュー日本版』で「いまなぜ若者応援が必要なのか？」をテーマに、インタビューコラム（全 7 回）を連載中です。

インタビューコラム「いまなぜ若者応援が必要なのか？」は、中央ろうきんホームページ内「中央ろうきん若者応援ファンド」のページからもご覧いただけます。

◎ 報道関係者の皆様からの本件に関する取材・お問い合わせ先

中央労働金庫 総合企画部<CSR企画>（兼 中央ろうきん社会貢献基金事務局）

担当：高瀬・岩村

TEL：03-3293-2048 E-mail：npo@chuo-rokin.or.jp

